

令和5年度 あんず 病害虫防除暦

ながのブロック

回数 散布時期 散布日 重点防除期間	IRAC FRAC コード	薬剤名	薬剤量	倍率	散布量 (10a当り)	対象病害虫 *太字は重点 病害虫	収穫前 使用 規制	年間 使用 回数	主な作業と注意事項及びドリフト対策
1 発芽前 (3月上旬) 月 日	M2	水 展着剤(マイリノー) 石灰硫黄合剤	90 ℓ 5 mℓ 10 ℓ	20,000 倍 10 倍	350 ℓ	越冬病害虫 カイガラムシ類 ハダニ類	発芽前	-	○ホウ素欠乏症の発生がある場合は、基肥の施肥に合わせ、ホウ砂の施肥を行う。(100g/成木1本) ○薬害防止のため石灰硫黄合剤とアプロードフロアブルは混用しない。 ○散布は無風時に丁寧に。 ○枯枝や樹上に残ったミイラ果、及び枝病斑は必ず除去する。 ○灰星病防除のため、発生が心配される園では開花前にロブラール水和剤1,500倍(66g・3日前まで)の特別散布を実施する。
2 発芽前 (3月中旬) ※前回散布より 一週間程度 間隔を空ける 月 日	- 16	水 スプレーオイル アプロードフロアブル ◎ カイガラムシの重要防除	98 ℓ 2 ℓ 100 mℓ	50 倍 1,000 倍	350 ℓ	カイガラムシ類	発芽前 30日前まで	1 回	
3 開花直前 月 日	M1	水 展着剤(アビオンE) ICボルドー66D	98 ℓ 100 mℓ 2 kg	1,000 倍 50 倍	350 ℓ	かいよう病	-	-	○かいよう病防除のため、春期防除を徹底する。 ○ICボルドー66Dに替えてICボルドー412を水97ℓに3kg加用散布しても良い。
4 落花直後 (4月中旬) 月 日	41 3 29	水 展着剤(アビオンE) マイコシールド オンリーワンフロアブル ウララDF	100 ℓ 100 mℓ 66 g 50 mℓ 50 g	1,000 倍 1,500 倍 2,000 倍 2,000 倍	400 ℓ	かいよう病 灰星病 黒星病 アブラムシ	14日前まで 前日まで 7日まで	2 回以内 3 回以内 2 回以内	○ミツバチ等訪花昆虫に対して影響を及ぼす可能性があるため、ウララDF以外の殺虫剤は使用しない。 ○凍霜害の軽減に努める(燃焼法・防霜資材の使用など)
5 (5月上旬) 月 日	M2 M3 1	水 展着剤(マイリノー) イオウフロアブル トレノックスフロアブル Ⓜ ダイアジノン水和剤34	100 ℓ 5 mℓ 200 mℓ 200 mℓ 100 g	20,000 倍 500 倍 500 倍 1,000 倍	500 ℓ	かいよう病 アブラムシ	- 21日前まで 21日前まで	- 3 回以内 2 回以内	○イオウフロアブルは高温時に薬害を生じる恐れがあるので注意する。

6 (5月下旬) 月 日	4 7	水 展着剤(マイリノー) ㊸ バリアード顆粒水和剤 フルーツセイバー	100 ℓ 5 mL 25 g 66 mL	20,000 倍 4,000 倍 1,500 倍	500 ℓ	灰星病 アブラムシ	前日まで 前日まで	2 回以内 3 回以内	○かいよう病の発生が心配される園ではスターナ水和剤1,000倍(100g・7日前まで)を加用散布する。 ○フルーツセイバーに替えて、ロブラール水和剤1,500倍(66g・3日前まで)を使用しても良い。
7 (6月上中旬) 月 日	3	水 展着剤(マイリノー) オーシャインフロアブル	100 ℓ 5 mL 33 mL	20,000 倍 3,000 倍	500 ℓ	灰星病	前日まで	3 回以内	○降雨による灰星病の発生時期なので、樹幹に丁寧に散布する。 ○着色初期にモーニングエース500倍(200g)を散布すると熟期促進・着色向上に効果がある。(混用散布可) ○アブラムシの発生園では㊸バリアード顆粒水和剤4,000倍(25g・前日まで)を加用散布する。 ○オーシャインフロアブルに替えて、オーシャイン水和剤3,000倍(33g・前日まで)を使用しても良い。
8 収穫前 (6月下旬) 月 日	7	水 展着剤(マイリノー) フルーツセイバー	100 ℓ 5 mL 66 mL	20,000 倍 1,500 倍	500 ℓ	灰星病 黒星病	前日まで	3 回以内	○フルーツセイバーに替えて、ロブラール水和剤1,500倍(66g・3日前まで)を使用しても良い。ただし収穫前日数に注意する。
9 (9月初旬 ~ 10月下旬) 月 日	M1	水 ICボルドー66D 固着剤K、Kステッカー (最後に混用する)	98 ℓ 2 kg 33 mL	50 倍 3,000 倍	500 ℓ	かいよう病	—	—	○かいよう病防除のため秋期防除を徹底する。防除は2週間隔で3回行う。 ○ICボルドー66Dに替えてICボルドー412を水97ℓに3kg加用し散布しても良い。 ○カイガラムシの発生が多い場合は9月上旬に㊸ダイアジノン水和剤34 1,000倍(100g・21日前まで)の特別散布を実施する。
特別散布 (落葉後) 月 日	1	水 ガットキラー乳剤	99 ℓ 1 ℓ	100 倍	200 ℓ	コスカシバ キクイムシ	休眠期	1 回	○コスカシバ防除のため必ず実施する。秋期防除の方が春期防除より防除効果が高いため、可能な限り秋期に実施する。その際、消毒後はホース・機械の水抜きをしっかりと行い、凍結防止に努める。